

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 津波や高潮につよい愛顔あふれる海岸づくり ～波の脅威から命をまもる～（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 国の社会資本整備重点計画と整合がとれている。愛媛県長期計画の重点目標「安全・安心で快適な暮らしの実現」で優先施策として、海岸保全施設の整備を行うこととされており、本整備計画と整合がとれている。また、高潮対策事業等改修系事業は、愛媛県海岸保全基本計画と整合がとれている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 津波、高潮などから、沿岸域県民の生命・財産を守り、安全で安心な生活を確保するため、海岸保全施設の整備による浸水防護を計画目標としている。また、近年台風、風浪等により浸水被害が発生し対策要望の出ている箇所から、背後地の重要度を評価し、整備の遅れが再度災害発生につながる可能性のある箇所を整備することとしており、地域の要望と整合	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 定量的指標としては、「計画区域内（計画該当箇所）の浸水危険区域面積、浸水被害人口が減少すること」としており、整備目標である「愛媛県全体で総合的に海岸事業を実施して越波や浸水等による被害を防止」につながるため、目標と指標が整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 1) 「要素事業毎に浸水危険区域面積を設定しており、その減少が事業の進捗を表現できる」ことから、指標は整備による効果を明瞭に表すものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 事業内容は、県、今治市が実施する基幹事業による海岸保全施設の改良、改築及び、施設の長寿命化計画に係る調査事業であり、目標達成のための事業内容となっている。（目標と事業内容が整合している。）	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性 1) 海岸保全施設の整備により浸水危険箇所が解消され、沿岸域県民の生命・財産を守り、安全で安心な生活を確保することに資することとなり、事業の効果の見込みは妥当である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 事業実施にあたっては、関係地元市町や地域住民からの強い要望を受けて実施しており、円滑な事業執行が図られる。	○

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性  
地元の機運

III. 計画の実現可能性

1) 津波、高潮土砂災害に対する防災訓練の実施など、地域住民による自主防災組織の活動とともに、海岸保全施設の整備や、老朽化した樋門等の電動化等の施設改良により、より一層の安全安心の確保ができる。

○